

仕事人秘錄

就職活動の時期を迎えて、接客業を中心に会社訪問を始めた。

行列のできる経営相談所

富士市産業支援センター長

小出 宗昭氏



静岡銀行に入って最初に配属されたのは横浜支店だった

ました。
すが質問
した。

後で知つたこと
高したのは副頭取

いが支払うべき手形類を相互に交換して受取額と支払額の差額を決済します。し

まあ、そんな変わったところが評価されたのでしょうか。内定をいただきました。両親に報告すると「よ

しかし、私の集計作業が遅く、そこにいる金融機関の皆さんに迷惑をかけてしまってのです。

かつたね。静銀さんに入れ
て」と大喜びです。自分と
しては筋を曲げたつもりは
なく、接客業としての銀行
にお世話になることを決め
ました。少しは親孝行にな

数字がそろわないと決済もできず、金額が合つまではだれも帰れません。私が交換所に行く番になると、「今日の静銀さんはまだあの人（小出）かあ」と冷た

大学3年生で米国旅行した際に「旅行関係の仕事が面白そうだ」と思い、そこの方面で就職活動を進めることにしました。自分としてはコミュニケーション能力が備わっているという自信もつてからうござん。

旅行会社や有名ホテルなど受けました。ところが、ある大手ホテルの役員直接で「香港で一番有名なホテルはどこですか」と聞かれて答えに窮していると「じゃあ、シンガポールで有名なホテルは」と繰り返してきました。やはり残念ながら答えることができません。面接官は「君、本当にホテルで働きた

手まといな新人時
ともそれが縁で将来
あと出会うことにな
た。お仕事としての仕事
は、朝、交換所で面倒見がよく、テキパキと仕事をしていま
した。お世話になっていました。お仕事としての仕事は、朝、交
換所で面倒見がよく、テキパキと仕事をしていました。お世話にな
った。手形類を各の女性が後に私の妻となる
きよみです。
函が持ち寄り、お互
に赴任したのは横浜
。新人時代の思い
は手形交換所での
があります。朝、交
出してくれたのが同じ支店
の女性の先輩です。とても
お仕事としての仕事は、朝、交
換所で面倒見がよく、テキパキと仕事をしていました。お世話にな
った。手形類を各の女性が後に私の妻となる
きよみです。
か。
ち間違いがあつて数字が合
いません。その繰り返しで
お仕事としての仕事は、朝、交
換所で面倒見がよく、テキパキと仕事をしていました。お世話にな
った。手形類を各の女性が後に私の妻となる
きよみです。

「銀行も接客業」で内定

同じ数字を打

足手あとしない新人時代。でもそれが縁で将来の伴侶と出会いことになります。

この時にいつも助け舟を
間違いかけて数字が合
ません。その繰り返しで

に伝えるが、「長男だからがあつて接客するからで地元の静岡の会社も受けてみたはどうか」と勧められたのです。志望理由を聞かれたので「銀行も接客業だと思いました」両親には散々迷惑を掛けってきたので、あまり乗り気はしなかったのですが地元の企業も回ってみるに」と笑われてしまい

に赴任したのは横浜市で、新人時代の思いとは手形交換所での朝、交際があります。朝、交際は本当に面白く仕事は本当に面白く仕事をしていました。お世話になりました。手形類を各の女性が後に私の妻となる函が持ち寄り、お互きよみです。

許諾番号30081863日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。